

<福岡県環境について>

【調査の目的】

福岡県の環境のマスタープランである「福岡県環境総合ビジョン(第五次福岡県環境総合基本計画)」(※1)では、県民の皆さんと一緒に目指す5年後の姿を「誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県～環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会へ～」と設定し、進捗管理のために、主要な環境基準の達成率等の20の数値指標を設定しています。

これらの数値指標に加えて、環境に関する実感を把握するため、県政モニターの皆さんの御意見をお聴かせください。

【活用状況】

環境総合ビジョンの進捗管理の一環として、環境へのニーズや満足度等を把握し、環境施策へ活用します。

(環境部 環境政策課)

※1 福岡県環境総合ビジョンとは

福岡県の環境行政の基本的な方向性を示すとともに、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の構築を目指して、県民、事業者、行政など、全ての主体が環境について考え行動する際の指針となるものです。

詳しくは、下記を御覧ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/env-vision.html>

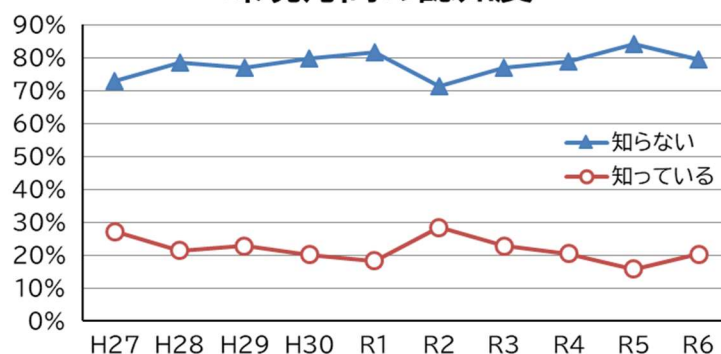
<1> 毎年6月は環境について考える環境月間であり、県でも街頭キャンペーンなどを行っていますが、6月が環境月間であることを知っていますか。

(n=382 選択は1つのみ)

知らない	304名	79.6%
知っている	78名	20.4%

無回答 0% (0名)

環境月間の認知度



<2> あなたが普段生活している身の回りの環境について、現在、満足しているのはどのようなところですか。

(n=382 複数回答可 回答件数=1,707)

ごみが正しく管理・処理されていること	209	54.7%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	173	45.3%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	156	40.8%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	144	37.7%
水が汚染されていないこと	140	36.6%
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	115	30.1%
住まいの周りの静かさ	114	29.8%
空気や空が汚染されていないこと	109	28.5%
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	82	21.5%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	81	21.2%
環境関連の技術や産業が向上・発展していること	76	19.9%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること	66	17.3%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること	65	17.0%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	57	14.9%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	53	13.9%
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	40	10.5%
環境について満足しているところはない	25	6.5%
その他	2	0.5%

無回答 0名 0.0%

〔その他〕

- ・ 人口の割に自然と触れ合える機会が多いように感じる。

<3> あなたが普段生活している身の回りの環境について、この10年間で良くなったと感じるのはどのようなところですか。

(n=382 複数回答可 回答件数=1,518)

太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	174	45.5%
ごみが正しく管理・処理されていること	157	41.1%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	151	39.5%
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	132	34.6%
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	129	33.8%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	91	23.8%
環境関連の技術や産業(※2)が向上・発展していること	90	23.6%
水が汚染されていないこと	84	22.0%
様々な産業において、環境に配慮した取組(※3)が行われていること	80	20.9%
家庭や会社で、環境配慮型製品(※4)が選べること	72	18.8%
空気や空が汚染されていないこと	69	18.1%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	54	14.1%
住まいの周りの静かさ	48	12.6%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	45	11.8%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	45	11.8%
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	43	11.3%
環境についてよくなったと感じるところはない	29	7.6%
10年前とは違う地域に住んでいるので分からない	25	6.5%
その他	0	0.0%

無回答 0名 0.0%

※2 環境関連産業とは

リサイクル関連産業だけではなく、太陽光発電等の自然エネルギー関連産業などの環境負荷の低減や環境保全につながる様々な産業のこと。

※3 様々な産業における環境に配慮した取組とは

様々な産業が行う事業活動の中で、環境負荷を低減するための取組。

例えば、減農薬・減化学肥料栽培などの環境に配慮した農業や生態系に配慮した資源管理型漁業など。

※4 環境配慮型製品とは

環境負荷の低減を考慮した物品等。以下のような環境ラベルが目印。



エコマーク



グリーン
マーク



福岡県産
リサイクル
製品認定制度



統一省エネ
ラベル



再生紙使用
マーク



低排出
ガス車認定

<4> あなたが普段生活している身の回りの環境について、不安や不満と感じるのはどのようなところですか。

(n=382 選択は4つまで 回答件数=862)

モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること	133	34.8%
空気や空が汚染されていること	105	27.5%
水が汚染されていること	71	18.6%
ごみが正しく管理・処理されていないこと	70	18.3%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと	56	14.7%
住まいの周りの静かさが保たれていないこと	53	13.9%
省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること	51	13.4%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること	49	12.8%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていないこと	43	11.3%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと	38	9.9%
日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと	37	9.7%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと	33	8.6%
環境について、不安や不満と感ずるところはない	32	8.4%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと	27	7.1%
環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと	25	6.5%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと	19	5.0%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べないこと	11	2.9%
その他	9	2.4%

無回答 0.0% (0名)

〔その他〕

- ・ 大規模太陽光発電所のように森を伐採し、天候に左右されやすいだけでなく土壌汚染にも繋がるような自称エコな環境破壊型の発電施設を作る場所が増えたことは不満の塊です。
- ・ 二酸化炭素の削減の為に多くの二酸化炭素を出して、そういうことには触れないというニュースを見たことがある。太陽発電が家の屋根にはあるのになぜ車などにはないのかしら？電気自動車の電気は本当に環境に良いのかしら？核ではないの？工場廃棄物は安全なの？
- ・ 環境対策は10年前に比べるとすすんではいるが、ゲリラ豪雨、夏の気温上昇、自然破壊の進みが早いと思うので、環境対策も少し早めにすすめたほうが、対応出来るのではないだろうか。
- ・ 環境保全、自然との共生などと謳われていますが、いまだに山を切り崩すような開発が県内各地で行われていること。山の樹木が伐採されたと思ったら、ソーラーパネルになって

いくこと。

- ・ 企業や行政がアピールしているものの、実際の生活に根付いているのかと言われるとそうではない。また、環境対策をやっているという単なる善良のアピールにしかなくておらず、不十分さを感じる
- ・ 方向性が定まっているがそれが正解かどうかはわからないこと
- ・ 農業者が少ないため、耕作されない田園が宅地造成されて、結局は大雨時に浸水してしまうこと。元の田んぼだった場所は、昔から大雨時に浸水するから宅地になっていなかったのに、前人の知恵が生かされていない。異常気象が原因で片付けられている。
- ・ 近頃水の汚染が取り沙汰されてますが、国の方から 9 月迄に各市町村で検査して国に報告義務がされた様ですが、検査結果を各市町村に任せる事無く福岡県として県全体として市民にも発表してもらいたいです。

<5> 福岡県の環境について、これまでの設問以外の意見(抜粋)

<①経済・社会のグリーン化>

- ・ 太陽光や省エネに関しては、福岡市のみ補助金が優遇されている感じがするため、県として省エネ、太陽光・蓄電池の推進をしてほしいです。
- ・ 環境に配慮しようと思うと、価格帯が上がることが多い。誰もが参加できるようにするためには、身近なことから参加できるような働きかけが必要だと思う
- ・ 環境に配慮していますと謳いつつその配慮する為の活動で環境を汚染しているものがあるというのを耳にしたことがあります。そうなってしまっは本末転倒ですので完全クリーンな活動が広まることを願います。

<②持続可能な社会のための地域づくり・人づくり>

- ・ 福岡はゴミの収集も夜ですしガラスや猫などによるゴミの散乱も他県より少ないとは思いますがそれでも時々マンション等のゴミ置き場でゴミの散乱を見受けられます。あとはこれは個人宅のマナーなのですがペットボトル等の捨て方等がきちんとされていない事。完全に空にせずそのまま廃棄。中身も洗わずラベルもはがさず捨てる。こういう手間ははっきり言って面倒なのですがこれをまた分別する仕事の人が大変になります。こういう事は学校や幼稚園等で教えるべきだと思います。大人が本来率先してやるべき事なのですがそうでないケースも多く、少ないとも子供がやれば親はやらざるを得ないでしょう。そういう小さな事からの環境改善と思います。
- ・ 暮らしの中で環境を守る 大切にすることを子供の時から学ぶ。具体的には小学校低学年から、校区内の公園、通学路、公共施設の周りなど、また水回りのある小川、河川、海岸など清掃キャンペーンを行う。自分の暮らす校区がゴミで汚れていることを知り、それを清掃して住みよい街をつくることを子供の時から学ぶようにしたい。環境問題の第一はゴミ拾いから！大きくなるにつれ自然環境保全へ繋がることを期待したい。
- ・ 子どもたちが環境について学ぶ機会は多くある気がするが、大人や中高生は自ら出向かないと学べる機会が少ない気がします。環境活動家の方の講演会等を積極的に地域や学校で行って欲しい。
- ・ 環境問題は熱心に考えている人と何も考えてない人の差が大きい。子どもの時からの意識付けが大切だと思う。
- ・ 子どものころから環境問題を考えるのは大切だと思います。地域のコミュニティが機能していない今、家庭と教育現場ではそういう話題であったり、考える時間があればいいですが、まわりを見てみると親も忙しく、教師も忙しく後回しになっている感があります。身の回りの環境で思うのは、環境を損ねているのは大人が多いということ。川にごみを投げ入れたり、ごみの出し方が適当でかえってごみを増やしていたり。大人

になる前の子どもに伝えていくことも必要だと感じます。

- ・ 海に近い場所に住んでいます。風が強い日の次の日など海にたくさんのゴミが流れてきます。地区でボランティアでゴミ拾いなどしてますがボランティアではさすがに限界があります。なので県で多少でも予算を出していただけたら助かります。もう少し海のゴミが減ると思いますしみんなの意識も高まると思います。

<③脱炭素社会>

- ・ 太陽光発電所の建設で自然が破壊される事が心配である。
- ・ 太陽光発電などメリットばかりが強調されてきたが、パネル設置のために森林が伐採されたり、保守のためにかなりのコストがかかるなどの問題点が指摘されているようである。また太陽光パネルに深刻な有害物質が使用されているとも聞く。このような問題点も含めて正確な情報の公開と周知が必要ではないか。自分自身かつては太陽光発電に賛成であったが、最近は必ずしもそう思えなくなっている。
- ・ 太陽光発電は再生可能エネルギーの一つかと思いますが、山を削ってまで作るものではないと思います。都市の中での太陽光発電を推進するとともに、これ以上山林がなくなることはない福岡県であってほしいと思います。
- ・ 大規模な太陽光発電設備が増えて、環境が破壊されていること。そのための森林伐採はゆくゆくは自分たちの首を絞めることになり得ないか。火事の時に消火活動がスムーズに行えないのも恐ろしい。
- ・ 再生エネルギーのために、無駄なエネルギーを使っていないかが心配
- ・ 太陽光や風力などの再生可能エネルギーについては、自然を破壊して設置していたり、その製造過程での環境への負担などもあることから、環境についてむしろ悪影響を及ぼしていると考えられます。さらに、電力系統面へ負担をかけていることから、再生可能エネルギー由来の設備増強なども行われており、その分に対しても環境に悪影響を及ぼしております。
- ・ 環境エネルギーと言われている、太陽光パネルの土壌への影響や、風力発電でのバードストライク問題などがあまり知られていないのは問題だと思う。
- ・ 地球温暖化への取組が実施されているが、温暖化が加速度的に進行していること
- ・ 身の回りの環境で一番問題と感ずるのは、「温暖化」です。この夏も気温 40°近くなる日が連続していて、生命の危険を感じるほどです。しかし、こればかりは県民が努力してもその地域を良くすることができない大きな課題です。しかしそうはいつても、地球温暖化をストップさせる県民の声を集め、行動を続けることは大事です。環境部局の方々は大変でしょうが、他県や他国の人々との連携も深め、この課題解決に向けてなお一層のご努力をお願いします。
- ・ 福岡県の環境向上はとても大事だと思います。今年は特に猛暑が続きます。暑さから身を守る取り組みについても考えてもらうと有り難い。

<④循環型社会>

- ・ あまりにも不法投棄を目にする機会が多い。事業者による大型不法投棄はあらゆる法令を駆使して徹底的に処分するのはもちろん、個人のポイ捨てレベルにおいても厳格に対応すべき。
- ・ 山、海、川、どれもゴミが目立ちます。人としてのモラルの問題だと思いますが、ごみ投棄の厳罰化を進めてほしいです。
- ・ ゴミが散乱している場所はまだ見受けられます。今より取り組みを強化していくことが重要だと思います
- ・ 住んでいる地区は月 1 回町内をパトロールしながらゴミ拾いをする活動があります。

平日夜間の開催ということもあり参加者は65歳以上の方が多いです。幅広い世代に関心を持って参加して貰えるように改善の余地はありますが、防犯とゴミに対する意識が高まる大変有意義な活動だと感じます。県内でこのような活動が増えれば良いと思います。個数別にみるとタバコの吸い殻が多い事が分かりました。可燃ゴミ収集の日にカラスにゴミをつつかれ散乱する事があったのですが、カラス避けネットから箱型のゴミ箱になり散乱が無くなりました。ネットだけの地区への被害がまだあるので、自治体からゴミ箱の支給や補助があると良いと思います。ゴミ削減の意識を持つためにも、県内全ての市町村でゴミ袋有料化、プラスチックの分別回収を行う地域を増やすことも有効だと考えます。

- ・ 6月が環境月間であることは知らなかった。省エネに関しては技術的に進んでいることが大きく寄与していると思われる。一方、資源の有効活用については進んでいない。リサイクル、リユースの徹底を更に図ることと、モノを残さない取り組みがなかなか進んでいないため、この取り組みを積極的に推進させることが必要と感じる。
- ・ スーパーだけでなくコンビニ、ドラッグストアなどでもペットボトル、アルミ缶など売るだけでなく回収をする様にしたら良いと思います。
- ・ リサイクルは良いが、手間、コスト(エネルギーなどとして環境悪化につながる)がかかっている。トータルとして評価することが大事。
- ・ 県の環境としてというか、日本の課題として車社会を減らす方法・食品ロスや規格外商品の破棄を減らす方法をしっかり取り組んでいかなければいけないと思っています。是非、福岡県を筆頭に将来の子供達の未来を守っていく取り組みをしたいです。
- ・ プラごみの早期分別
- ・ プラスチックゴミの回収をもっと多くの市町村でやってほしい。
- ・ ゴミ捨てが楽なのは良いのですが、再生可能なゴミに関しては積極的に回収を進めた方が良いと思います。例えば他県であるようなペットボトルを回収する場所に持っていくとポイント還元する等。メリットが無いと取り組まない人が多いので活用すると良いと思います。
- ・ ごみの分別は必要でしょうか。分別をしても、多くは燃えるゴミとして焼却され、ほとんど効果がないように思えます。他県のように一括で全て捨てられると便利だと感じます。

<⑤自然共生社会>

- ・ 猪や鹿などの共存共栄をどうすればいいか？ 近所で出没するので
- ・ 樋井川で毎年川遊びをします。するとボイ捨てされた色々なものが川から出てきます。色々な価値観のひとがいるので、難しいのはわかりますが、自然を大切にしていこう行動を気づかせる看板なり、を増やして欲しいです。
- ・ 子どもと一緒に水遊びの出来る川の整備をもっとしてほしい。自然と子供の触れ合える場所が少ないと感じる。

<⑥健康で快適に暮らせる生活環境>

- ・ 水の汚染度が気になります。詳細に調査していただきたい。それと、山林で埋めて？管理しているダイオキシンとか枯葉剤、今後どうなるのでしょうか。
- ・ 下水道が整備されている地域内でも下水に接続していない家庭があり、生活排水が側溝に流れているので一日も早く普及率100パーセントにしてほしい
- ・ 渇水問題や治水問題は県をあげて取り組むべきだと思います
- ・ 水田の農薬が心配。草がほとんど生えていない。
- ・ 安易に除草剤や農薬等を使い過ぎる方が多いようです。次世代への影響が心配です。

- ・ 私は田舎に住んでいるので環境には満足していますが、たまに都市部に出かけると緑の無さや空気の悪さを感じます。公共交通の改善等で車通勤を減らすして行くべきだと思います。
- ・ 家の前が大きな道路で、車の排気ガスが風に乗ってくるため、エコな車が普及して排気ガスがなくなればいいと思っています。

<⑦国際環境協力>

- ・ 黄砂や PM_{2.5} など、空気が汚染されている日が昔より多い印象です。環境問題は、ひとつの県、ひとつの国だけでなく、周りの国と足並みをそろえる必要があるかと思います。姉妹都市や特に中国との連携ができるとよりよい環境対策が可能かと思います。
- ・ 海外の影響に対する対策を実施しないと将来不安
- ・ 大気も海も全て、他の国にも繋がっているため世界規模での取り組みが必須なのに特に中国の大気汚染問題は、私達日本人の健康被害への影響が大問題です。自国の利益のみを主張する国々への考えを改善する指導をしなければいつまでも健康被害問題が悪化します。県単位の取り組みは、大事ですが、日本だけの問題ではないと思われれます。

<⑧その他>

- ・ 環境(地球)については、福岡県だけの問題ではなく、世界的な問題だと思う。過去の先人達が築き上げてきて、良いところも悪いところも含めて今の生活があると思うので、悪いところについてはそのツケをこれからの子供達の将来に残さないよう、福岡県が世界に先駆けて色々な環境問題に取り組んでもらいたい！
- ・ 環境保全について、人類はまだ発展途上だと思える。情報が錯綜している。たとえば、太陽光発電がもてはやされる反面、メリット、デメリットのバランスに疑問がある。ゴミの処理も、まだ原始的だ。ゴミ分別は、取り組みにばらつきがあり文化として確立していない。環境教育は、義務教育の学校では一ミリしか進んでいない。
- ・ ゴミ袋による分別やリサイクルできるものの選別など一人一人が意識的にできているところはあると思う。無料のボランティア活動に頼るばかりでなく、子供から老人までが休みの日や、やりたい時に清掃活動などを有料で行える登録制度をつくり、働けるようにすると良いと思う。
- ・ 福岡県は環境問題に対してどのように取り組んでいるか、テレビや新聞等でもっと報じて欲しい。
- ・ 各地域の連携が必要な分野だと思います。各市町村がそれぞれの特徴を活かしてイベントを企画し、多くの県民がそれを利用したり、考えたり、参加したりできるような機会を、もっと作れたら良いのではないかと思います。
- ・ 環境問題の取り組みをもっとアピールする場所があってもいいと思います。
- ・ 福岡県の環境については、地域ごとで意識の違いや取り組みの差がある。県全体としての目指す目標をどのように各地域へ啓蒙していこうとしているのか県の取り組みを知りたい。
- ・ 通販で買い物した時に、過剰な包装がされていて、ゴミが増え処理に困るし、資源がもったいないといつも思います。以前は遅い時間のスーパーでは、割引シールが貼られた惣菜が沢山並んでいましたが、最近はそういったものが少なくなりました。SDGS の取り組みができているなど感じています。
- ・ 観光施設と子供の安全な遊び場が他県に比べて充実していないと思います。河川敷などをもっと整備して活用して欲しいです。

<6> 満足・不満足に関する回答の経年変化^{注)}

<①経済・社会のグリーン化>

- ・「産業での環境に配慮した取組」「家庭や会社での環境配慮型製品の選択」「環境関連技術・産業」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<②持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり>

- ・「環境配慮行動」「地域づくり」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<③脱炭素社会への移行>

- ・「再生可能エネルギーの活用」に対する満足度は昨年度から増加しました。「省エネルギーの取組」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<④循環型社会の推進>

- ・「ごみの管理・処理」に対する満足度は比較的高く推移しています。「資源の有効利用」「リサイクル」に対する満足度は昨年度から増加しました。

<⑤自然共生社会の推進>

- ・「身近な自然との触れ合い」に対する満足度は、比較的高く推移しています。「豊かな自然の恵みを活かす社会経済活動」に対する満足度は昨年度から増加しました。「希少種や里山を守る取組」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<⑥健康で快適に暮らせる生活環境の形成>

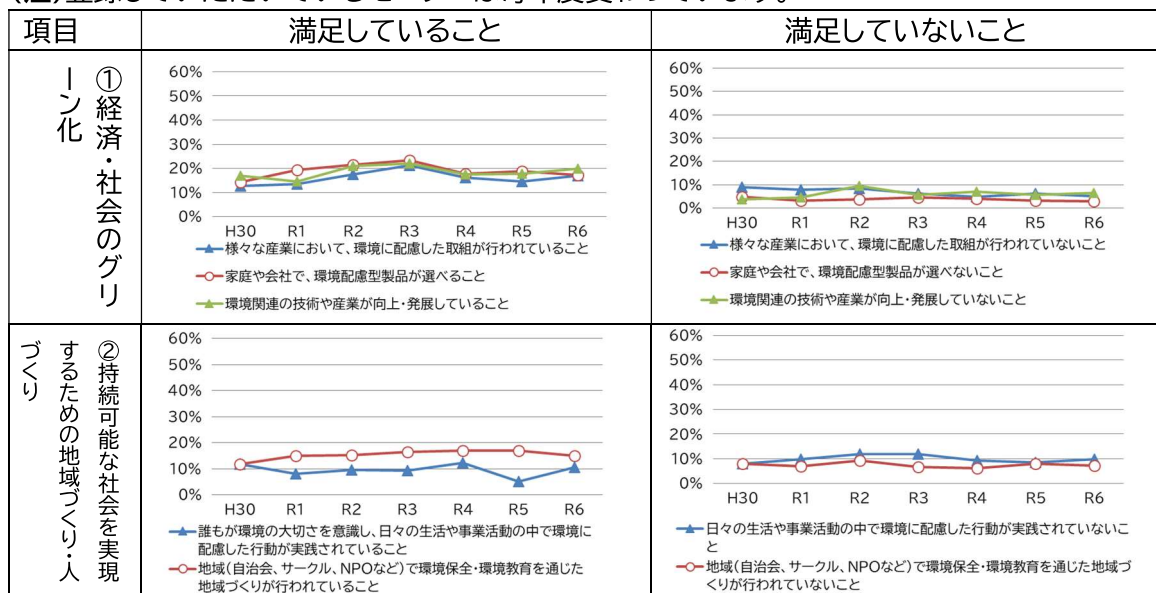
- ・「水の汚染」「空気の汚れ」「住まいの周りの静かさ」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

満足していないと感じる割合については、「<循環型社会の推進>モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること」が他の項目に比べ比較的高い傾向にあります。

また、<健康で快適に暮らせる生活環境の形成>「空気や空気が汚染されていること」では他の項目に比べ比較的高いですが、近年改善傾向にあります。

これらの結果については、今後の環境に関する取組の進め方や情報発信に活用していきます。

(注)登録していただいているモニターは毎年度変わっています。



行 ③ 脱炭素社会への移行	省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること 太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること 太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと
④ 循環型社会の推進	モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いが少ないこと 環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること ごみが正しく管理・処理されていること	モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること 環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていないこと ごみが正しく管理・処理されていないこと
⑤ 自然共生社会の推進	豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと
⑥ 健康で快適に暮らせる生活環境の形成	空気や空が汚染されていないこと 水が汚染されていないこと 住まいの周りの静かさ	空気や空が汚染されていること 水が汚染されていること 住まいの周りの静かさが保たれていないこと